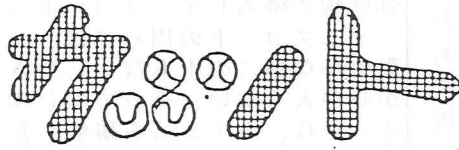


Since, 5. 1972



東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

コート取り当番クラブ

発行責任者・柳 利夫

10月 11月分のコート 美住B

住所・東村山市萩山町 5-6-26, 301号

11月 12月分のコート 美住C

編集責任者・黒岩俊雄

12月 1月分のコート 恩多A

☎ 0423-(95)4336

第7回運営委員会報告

94.9.4.13:00~14:30・スポーツクラブ室

柳会長挨拶

- ① 早朝練習に周辺住民より苦情が市に出されている。
- ② 恩多コートD・Eは、11月中旬頃より、工事のため使えなくなる見込みであり、代替コートとして学校の施設や竜泉園コートなどをお願いしている。

テニス連盟報告

第31回秋期市民大会のドローが金額で約5万円程度減、参加者が減っている

技術部報告

- ① イベントを11月6日(日)に開催することを決定。内容は検討のうえ発表する。
- ② マニュアル検討委員会では、スクールの練習メニューなど検討しているが、来年のスクールから使用出来る見込みとなった
- ③ ジュースなどの空き缶の整理を各人が注意して行っていくことと、久米川コートに注意書を行う。(9月10日より実施)

広報部報告

特に無し

財政部報告

ボール代・コート使用料など予算執行状況は順調です。なお、支出項目については、適正となるよう整理します。

事務局報告

- ① 9月4日予定の草取りは、市のほうで実施したため中止。
- ② 同日午前中(9月4日)に行われた開会式は、16名(他クラブを含む)でした。市民テの皆さんがもっと多く参加していただけますようお願いしたい。

各クラブの報告から

○恩多クラブ ●①『夏合宿』は少数であったが楽しいものになることが出来た。

忘年会

12月3日(土) スポーツセンター2F

- ② 本井教室については、資料に基づき討議し、引き続き続ける。指導者教室と位置づけ技術部は参加し、スクールで会員の技術アップという方向で還元していく。

○青葉クラブ ●①『夏合宿』の報告、本井教室の討議なし。

- ② 練習会11月3日 西武園コート確保

●諏訪クラブ ○ 合同『夏合宿』の報告、本井教室については結論は出ているとの意見もあったが、補助金額が多い、誰でも参加出来るもの等の意見あり。

○美住クラブ ●

●萩山クラブ ○ 『夏合宿』の報告、本井教室の討議なし。

..... 青葉とともに文書整理し、運営委員会できれいな結論を出す。

言議事項

「年間スケジュール」変更について

会計年度の変更時期と総会が空きすぎて名簿の発行などが遅くなりすぎることなどから、新年度への移行を速やかに行うため下記のとおり変更する。*****

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	記事
※現行	新入会切	→	・オリエンテーション	・総会				1ヶ月早くしますので注意して下さい
※	会費納入切	→	・名簿発行	→				
※新	新入会切	→	・オリエンテーション	・総会				*****
※	会費納入切	→	・名簿発行	→				

10月のコート情報

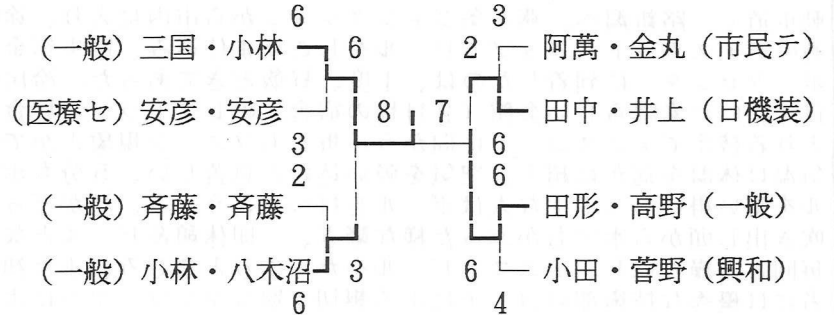
練習内容	曜日・時間	練習日
久米川コート	(土) 9:00~18:00	1, 8, 15, 22, 29
定期練習	(日) 8:00~18:00
恩多コート	(土) 6:00~9:00A	1, 8, 15, 22, 29
早朝練習	(日) 6:00~8:00A	2, 9, 23, 30
ナイター練習	(水) 7:00~9:00P	5, 12, 19, 26

注意事項等

- 1. ①久米川コートは、秋期大会及び市民運動会の予備日等のため、消化状況をみないと日曜は不明です。3を見よ
- ②土曜日は通常通り出来ますので練習してください。
- ③早朝も10, 16日は運動会の関係で困難です。
- 2. ①ナイターは通常通り出来ますので練習してください。
- 3. 秋期大会の延期 (10月9日女子D(A)(B))
そのため、コート (10月23日男子D(A) 壮年D)
で練習は出来ません。 (10月30日男子S(B))

秋期市民大会の途中経過

① 男子ダブルス(B)



市民テで唯一のベスト8ペア(阿萬・金丸)も善戦虚しく敗れ去ってしまいました。それにしてもエントリーが少ないので、スクールの方も腕試しに是非試合の申込みをなさして下さい。

青葉クラブ合宿・紀行

あの暑さが懐かしくなる最近の天候・喉元過ぎればなんとやら、藤岡信照「押忍」「ウッス」青葉クラブ合宿報告をさせていただきます。と、このような書き出しで始めるのは、去る8月27~28日山中湖平野で行った合宿で某大学の応援団と同宿になり、時代錯誤と思われる挨拶、態度を見、次第に影響を受けたからであり、いくら団体戦優勝の経験を持つ強い青葉クラブでも体育会系に変身したからではありません。27日は朝7時過ぎに総勢26名で出発し11時に宿に到着、すぐにコートで打ち始めました。当日は真夏を思わせる暑さで、さすがに日陰は涼しいもののコートの中は久米川と同じでした。昼食後、あらかじめ決めておいたミックスペアによるぞう組、パンダ組に分かれての団体戦から始まりました。勝敗による賞品にかなり差をつけたせいか、ほとんどの試合が接戦で暑さも忘れて熱戦が繰り広げられました。結局、ぞう組が勝ち、夜の宴会で賞品が渡されました。夕食は応援団と一緒にほとんどそちらの方をちらちら見ながら、「いただきます」「ごちそうさま」「前を失礼します」「おかわりさせていただきます」の挨拶も姿勢を正して大声で行い、他に影響されやすい青葉クラブの体質が出てしまいました。夜の宴会は原田さんのかわいい子供達の読み上げるビンゴから始まり、恒例のUNO組、ただ飲む人、カラオケにとりかかる人と楽しく過ごし

テニスショップフジによる
用具指導は、秋期大会のため
ありません。

ました。夜も更けると同じコップでの男同士の妖しい飲み方が主流になり、そろそろ危ないと見た某氏が終わりを宣言しました。そのあともおばさん同士でとてもここでは触れられない遊びをしていたとの噂もありました。翌日は、今回の合宿で初めての、シングルス個人戦を中心に行いました。暑い中、皆とても元気で、ゲーテの言葉「地球で最後に残るのはごきぶりとおばさんである」を十分に証明するものでした。

男子シングルスでは予想通り林さんが優勝し、女子では激戦を戦い抜いた原田さんが優勝しました。試合では大声を上げ自ら叱咤激励して準優勝した安彦さんの健闘が光りました。3時に表彰式をもってすべての行事が終わりました。帰りは道に詳しい田代財政部長の言う事を聞いた人が他のルートを通った人より2時間位早く着き、人の言う事を素直に聞く事の大切さを教訓として残しました。



恩多クラブ合宿

(海と山と究極のメニュー付きテニス合宿)



8/27日朝 6時半過ぎ、スポーツセンター前を出発、関越自動車道で一路新潟へ。燕三条ジャンクションから市内に入り、途中酒のデイスカウトショップでビールをしこたま仕込み、厚生年金スポーツセンターに到着したのは、丁度、昼飯どきであった。冷房の良く利いた素晴らしい会館(2日目の宿舎)のレストランで昼食をとり着替えてテニスコートに向かう、折しもフェーン現象とかで、気温は体温を遥かに超え、空気を吸い込むと息苦しい、5分もボールを追い掛ける(上手な人はボールを打つと言う)と、汗がどっと吹き出し頭から水でもかぶった様な騒ぎ、即休憩&ビールとなる毎回この繰り返し。テニスとビールをたっぷり楽しみ、また初心者には優秀な技術部のコーチによる懇切丁寧なマンツーマンによる技術指導もあり、初心者一同一皮むけ急にテニスがうまくなった様子。1日目は5時にテニスを切り上げ、巻町四ツ郷の潮騒の聞こえる海の目の前の割烹旅館「浜入家」へ。夜は海の幸に舌鼓、あとはおさまりのフルコース大宴会。酒は飲み放題、カラオケは歌い放題で気が付いたら夜もふけ、明日が気になる時刻になっていた。

8/28日(日) 2日目

一夜明けて、すっきり顔やら寝ぼけ顔の面々、昨夜は頭の上や足の方からのいびきの攻撃で寝られなかったやら、寝たなと思ったらもう朝だった等様々な朝の声の楽しい一時。朝食もそこそこにテニスコートへ。

昼から急に弥彦山へ行こう、と言う事になりビールを飲んでうたた寝をしていた運転手をたたき起こし第2ステージは弥彦山までドライブ。これがまた真夏の恐怖、どの運転手も、もうろうとした状態での山路のつざら折り、ヘアピンカーブの連続に全員恐怖でぐっすり、気を失う者も出る始末、ほうほうの体で車から降り、胸突き八丁の登山道を1ピッチ登り頂上の奥の院へ。やれやれと、遥か遠くを眺むれど、見える笹の佐渡ヶ島は地平線の波の彼方。足腰を鍛えた所で本日の第3ステージへ。(またテニス)途中、先に帰ると



いう新人のKさんと恩多クラブの将来を背負って立つ若手のT君を弥彦駅で降ろしテニスコートへ逆戻り。

テニスコートの周りには、サッカーグラウンドあり、プールありで賑やかな事この上もない。暑さも最高潮に達し、テニスにもなかなか身が入らない、それでもしぶとく6時頃までたっぷり、ゆったりぐったり、とテニスを堪能した。夜は、厚生年金スポーツセンターの泡風呂と蒸気の降るサウナ風呂で汗を流し、豪華な夕食。2次会は「外部コーチによる講習会の在り方」と題しての難しいミーティング。結論が出た所でおさまりの宴会、さすがに2日続けての宴会ともなると長持ちはしない、草々に各自部屋に引き上げ、明日にそなえ白河夜船。

8/29(月) 3日目

本日のメインコースは寺泊の魚市場と「日本一うまいそば」寺泊では各自 思い思いにカニやら魚やらを目一杯買い込み、昼は予約していた「日本一うまいそば」を食べ(予約しておかないと食べられない、値段は上物のステーキより高かったが、さすがそばの大吟醸と言われるだけの事はある 蕎麦の実の芯の部分だけを粉にし予約分だけを時間に合わせ打ち上げたものとの事)満足して帰路につく。途中燕三条で刃物のデパートに立ち寄り、主婦が包丁を買ったりして! 途中何度かサービスエリアで休憩をとったが、渋滞にも引っ掛からず、丁度夕飯時に無事に我が家に到着した。今回の合宿を振り返ってみると、テニス&観光旅行と言う方がピッタリな2泊3日であった。たまにはこんな合宿もいいのではないかとしみじみ感じた2泊3日でもあった。

『恩多クラブ:千田』

私とテニス

大武光 子さん
青葉クラブの顔 ・ 稲橋サカエさん

まず、大武さん。

編み物のプロである。注文を受け、また週4日自宅でおしえてもいる。テニスを始めたのは45才から。市民テに入って11年目である。それまではスポーツとは縁がなかったそうだ。今では編み物で細かい神経を使った後、ストレス解消にテニスが一番。

「短パンよりスカートが好き、しゃきっとするから」と年に似合わずきれいな足で(?)粘りのテニスをする彼女。若い人との交流も心掛け、世話役を引き受けている。

女子ダブルス(B)で準優勝の経験を持ち、親孝行の息子さんとのミックスマックスでは3回戦に進出している。その息子さんも来春には社会人。97才になるおばあちゃんもお元気で、誰かさんと違って家族につくし、ますますテニスに磨きがかかる。

つづいて稲橋さん。

昨年5月の大ケガからの復帰以来、やっとテニスが一週間に7日になったみたい。それまでは一週間に10日といわれていた。

みごと今年の団体戦でカムバック。意志の強い人である。

周囲がハラハラするほど、前向きにリハビリトレーニングに明け暮れ、今ではケガの後も感じさせないほどに。そんな彼女でも最初は『もうテニスが出来なくなるのではないかと不安』という言葉をお口にしていた。

酒も〇も●も(?)やらない規律正しい生活と、健康を考え、何よりも食にこだわる主婦の鏡のような人。彼女の早い復帰は当然だったかも。8人兄妹の7番目だけあって、物おじしない天性の明るさ。人によっては恐怖かも?どこにいても目立って世話好きである。

テニスを始めたのは40才から。市民テに入って4年目であるコートに来ていた時間数を比べれば、ベテラン会員と同じ?

将来どんな目標を?

いくつになってもケガのないようにみんな仲良く楽しいテニスを心掛けていきたいと、二人とも口をそろえて言う。若い私たちががんばらなくちゃ。そうそう、お二人とも市民テの男性諸氏にもう少しやさしい言葉と、愛の手をさしのべて下さればもっとファンが増えるんじゃないですか?

それと一杯おごるといふ約束忘れないでくださいね。

今年の夏をテニスで汗を! そのあとビールで喉をうるおし、涼くなった今、あの時のビールの美味かったこと。『ガット』原稿集めに奔走した・・青葉クラブ 浜 敬子

編集後記

今年度より、会費の徴収時期や新入会員の募集時期を1カ月早めました。

継続の方は、お金を早めに準備して、また、新たに会員になりたいとの希望を聞いている方は、該当者にそのむね知らせたて下さい。

各クラブでは役員の変更も1カ月早まることとなりますので、会長さんの『師走』は11月からとなるでしょう。(T. K)